

I 組織の使命

圏域の産業および物流を支え、国内外の海上輸送網の拠点となっている「港湾」については、多様な機能が調和し、それらが連携する中で質の高い港湾空間を形成するため、秩序ある整備と適正な運営を図ります。

また、外貿コンテナ等の物流機能の拡充や、クルーズ船の受入体制の強化とともに、ポートセールスに努め、道南圏を後背圏とした流通や人的交流の拠点となる港の形成を目指します。

本市の総合交通体系の一翼を担い、地域経済・文化の活性化を図るうえで重要な「空港」については、航空需要に対応した施設の整備を促進します。また、空港機能の強化を図るため、国際・国内航空路線の拡充や、空港周辺地域住民の生活安定および福祉の向上に寄与するために、空港周辺の環境整備に努めます。

II 組織の基本方針

- 港湾については、国際観光・交流拠点の創造、豊かで活力ある地域社会と経済環境の創造などの多様な要請に対処するため、「賑わいと親しみあふれる活力ある函館港」を目指し、平成17年に改訂した港湾計画等に基づき、弁天地区の係留施設や緑地の整備、既存施設の改良・補修などを進めます。また、クルーズ船の誘致については、観光地エリアに近接する若松ふ頭および函館クルーズターミナルの優位性を生かし、更なる寄港数の増加を目指します。
- 空港については、コロナ禍前の国内線利用者数まで回復が図られるよう、空港運営会社や経済界と連携しながら就航路線のPRに努めるとともに、国際線の更なる再開、新規就航に向け関係機関と協議を進めていきます。

III 主要施策・事務事業

1 港湾施設の充実

- (1) 弁天地区の港湾機能および緑地整備
- (2) 既存施設の改良・補修等
- (3) 榎法華港の機能向上

2 港湾の利用促進

- (1) クルーズ船の受入れ拡大
- (2) 港湾貨物の集荷強化、コンテナ航路の利用促進

3 空港機能の充実

- (1) 空港運営会社との連携による路線拡充・再開
- (2) 空港施設の整備促進